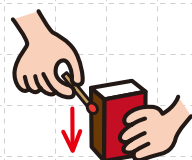


できるかな? マッチを すってみよう!

STEP 1 マッチ棒の赤いところと
マッチ箱の茶色いところを
勢いよくする

- マッチ棒を3本の指でしっかり持ちましょう。
- 手前から下向きにすると安全です。
- 箱の中のマッチ棒の頭とは逆の方向にすりましょう。

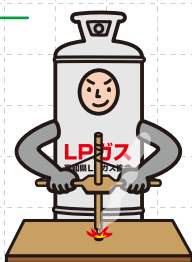


STEP 2 火がつく
(マッチ棒が燃える)

- 火がついている方を上向きに
すると、手が熱くなりません。

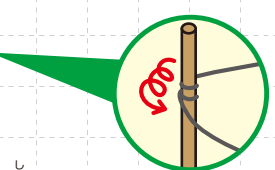
STEP 3 火を消す

- 水の入った容器に
入れて火を消しましょう。

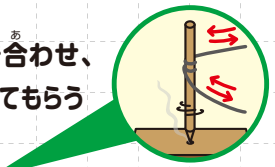


できるかな? 古代の火おこしに 挑戦しよう!

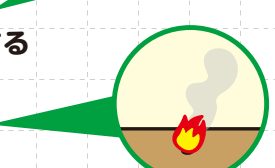
STEP 1 ヒキリ棒にヒモを
2回巻きつける



STEP 2 ベニヤ板の上に、
火種を受ける厚紙を敷く

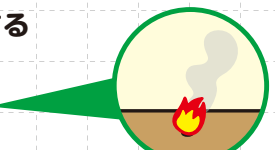


STEP 3 ヒキリ棒にヒキリ棒を合わせ、
ベアの人の上に上から押さえてもらう



STEP 4 ヒモを左右に
動かし回転を速くする

STEP 5 煙が出て赤い火が
見えたら成功



教えて!! LPマン Q&A

火についてわからないことを
LPマンがズバット解決!

Q 火は何からできているの?

みなさんは火と聞いて、何を思い出しますか? ガスコンロの火、石油ストーブの火、ライター、ローソクの火、マッチの火…。このように火にもいろいろな種類があり、燃料となるものもちがっています。火は、それぞれの燃料によって決められた一定の高い温度にすると、燃え始めます。しかし、単に高温にただけでは何も燃えません。そこで必要となるのが、酸素です。みなさんご存じのように、空気中には酸素があります。この酸素が燃料とはげしく高温で反応して、初めて燃えることができるのです。ですから火は、燃料になるものと酸素からできているといえるでしょう。どちらが欠けても燃えません。

Q 火の色はどうしてオレンジなの?

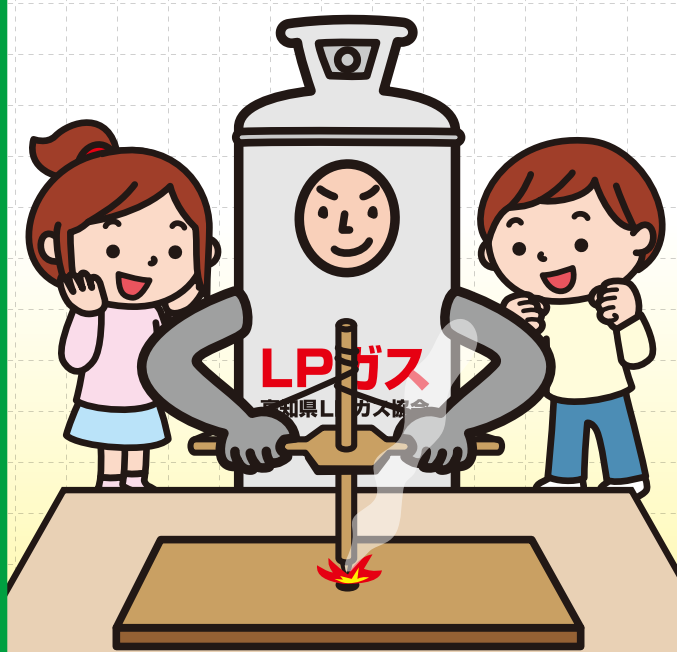
たしかに火の色という、真っ先にイメージするのが、ローソクのほのおなどのオレンジ色ですね。しかし、ガスコンロやガスストーブのほのおは、どうでしょう? 空気の調節を変えると、オレンジ色のほのおから青いほのおに変わってきます。そう、火の色はオレンジ色だけではないのです。いちばんいろいろな種類の色のほのおを見ることができるのが、夏の風物詩・花火です。赤・黄・緑・青とさまざまな色が入っています。こんなふうには火の色がいろいろちがうのには、おもにふたつの原因が考えられます。ひとつ目の原因は、温度。オレンジ色の火は、不完全燃焼のため火の温度が低くなっているのです。それに対して青い火は、完全燃焼しているときで、かなり温度が高くなっています。もうひとつは、燃料の素材の違いです。燃料のなかに塩が含まれると、きれいなオレンジ色になり、銅が含まれると緑色になります。暮らしの中で出会ういろいろな火の色、これからよく観察してみてください。

火を学ぼう



火をふれあおう

キッズ教室 しおり



(一社) 高知県LPガス協会・LPガス安全委員会

まずはさいしょに

LPマンと 3つの約束



- 1 火を大切に使います
- 2 火を安全に使います
- 3 火を使う時はおうちの
人といっしょ

安全な火の使い方

火は、便利で大切なものです。同時に、あやまった使い方をすると火は危険なものでもあります。火を使う時は必ず、おうちの人たちと一緒に使いましょう。近くに消火用の水を用意することを忘れないようにしましょう。

- 火を使う(花火など)前に、近くに人がいないか、周りに燃えやすいものがないかなど、安全を確かめましょう。
- 手袋は燃えやすいので、火を使うときは外しましょう。
- 風の強いときはやめましょう。途中で風が強くなったら中止しましょう。
- 花火で遊ぶときは、説明書をよく読みましょう。
- 火を使うときは、消火できるものを用意しましょう。(水をはったバケツ、濡れたぞうきんなど)
- 後始末を忘れないようにしましょう。
- ゴミは持ち帰りましょう。

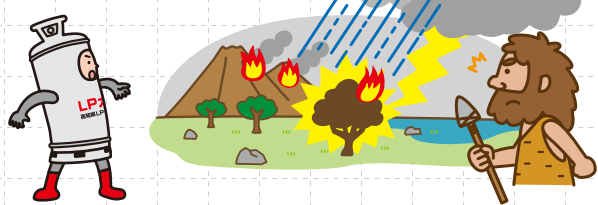


人類と火のつながりを知ろう

どうして人だけが火を使うことができるのか？
どうやって火の使い方を会得したのでしょうか？

1 人と火の出会い

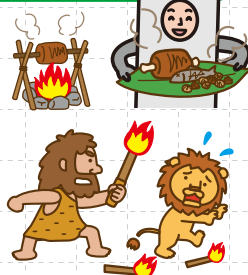
人が「火」を利用するようになったのは、80万年前とも180万年前とも
言われています。雷が落ちたり、火山の噴火による山火事から人は
「火」を知りました。人は他の動物と
ちがいで、「火」を利用しようと考え、
大切に守り続けました。



2 火が与えてくれたもの

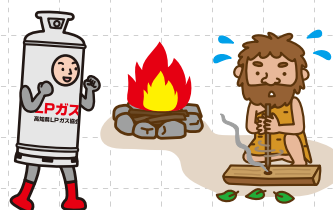
人は「火」がいろいろなことに役立ち、
生活に欠かせないものだとなりました。

- 動物から身を守る「安全」
- 暗い夜を照らす「明るさ（光）」
- 寒い夜に体をあたためる「暖かさ（熱）」
- たべものを焼く「おいしさ」



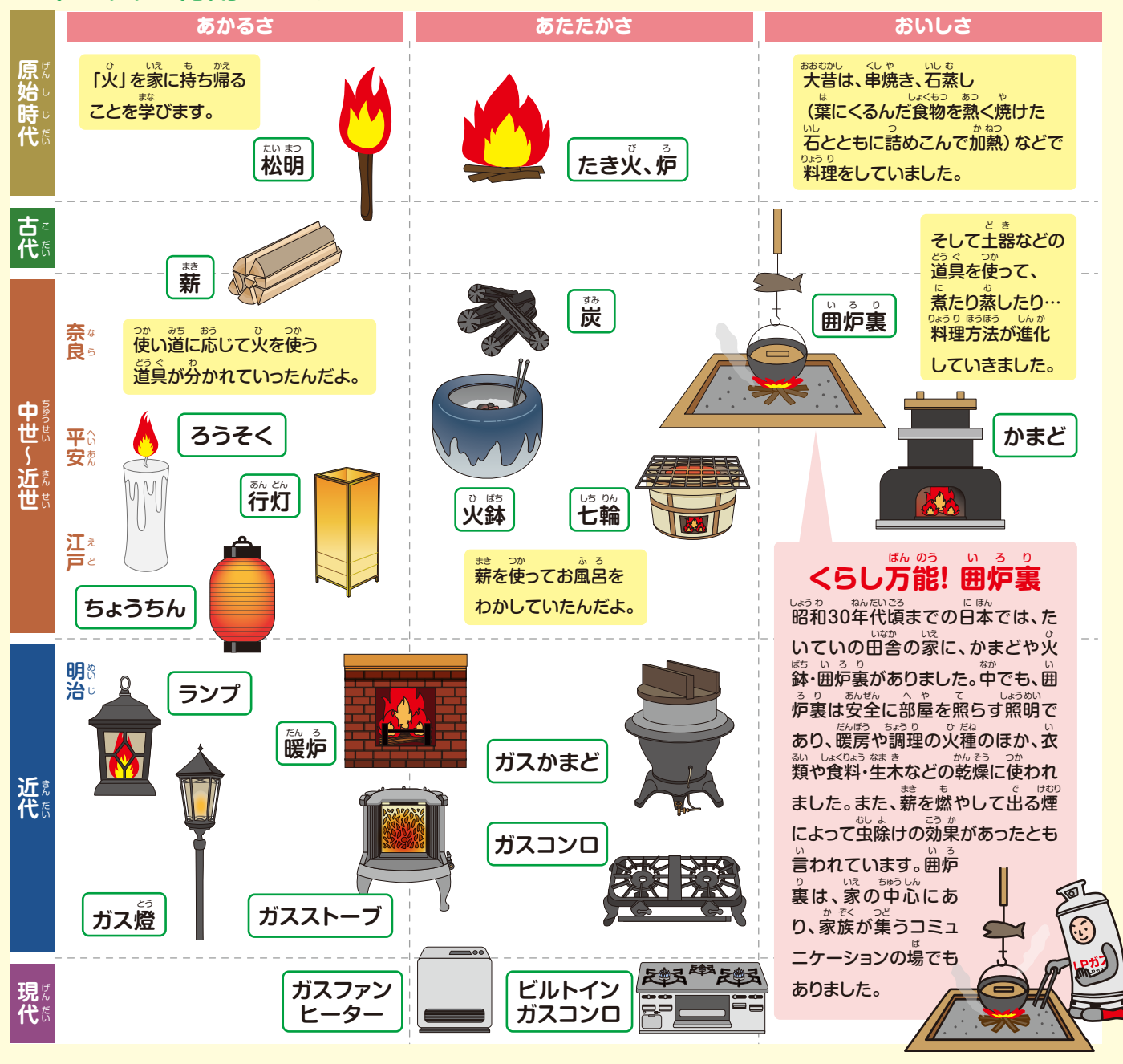
3 火をつくる方法を身につける

「火」を使うようになった人は、他の動物とはちがう生活をするよう
になりました。「火」が日々の暮らしになくてはならないものだと思
いた人は、「自分たちの力で火を
作ろう」と考えました。乾いた木
と木をこすり、摩擦によって発火
させる「火おこし」という方法を
身につけました。



日本の火の利用のあゆみ

さて、君の見たことのある火はいくつあるかな？



現在ではLPガスで電気とお湯を作れる燃料電池や高効率給湯器によりCO₂の排出削減に役立っています。

このリーフレットは、LPガス安全委員会の支援により製作しています。

生活の中の火のエピソード

私たちの生活の中に火はきってもきれないもの。
そんな火にまつわるエピソードを紹介します。

1 大文字の送り火

毎年8月16日、京都のお盆行事として行
われるのが、大文字の送り火です。時間
にすれば30分ほどのひとときですが、順番
に点いては消えてゆく火に、大勢の人が
魅了されます。観光客にも人気で、「大文
字焼き」と山火事のように言われることも
ありますが、この火はお盆に帰ってこられ
た御精霊（おしよらいさま＝先祖）をお見
送りする神聖な火です。京都の人にとって
は、なくてはならない大切な火なのです。



2 ろうそくの火

ろうそくの火には、集中力を高める力が
あるといわれています。ゆらめくほのお
を30秒ほど眺めているだけでOK。
また、疲れたときや落ち込んでいるとき、
心を鎮めたいときは、キャンドルを灯して
みましょう。ゆったりと心が癒されるのを
感じることでしよう。



3 みんな楽しんだキャンプファイヤー

キャンプファイヤーでみんな一緒に火を
囲み、歌ったり踊ったりするのはとても楽
しいもの。こころが一つになったように感
じ、友達とますます仲良くなれた。そんな
経験をお持ちの方も少なくないでしょう。
火には、人々をひきつける不思議な力が
あるようです。

